

幼稚園參觀の旅

及川ふみ

東京出立の前から、「天氣次第に悪くなる」の豫報にいささか氣づかひをしてゐたのではあるが、名古屋市内の幼稚園參觀の二十一日は朝からの雨で、御案内の勞をわざわざおこり下さつた、名古屋市立第一幼稚園長加藤かつ姉に大層御迷惑をおかけ申した。

第三幼稚園では、さき頃から幼児に晝食(お菜だけ)の給食を實施せられてゐるのでこの状況を拜見した。大島園長自らエプロンがけで二人の助手を相手に、今日の駄立、玉子やき(玉子に玉葱、えんじょう豆)こんぶの佃煮、菜したし、の百數十人の幼児の御馳走に朝から御多忙であつた。

毎週の駄立表は名古屋醫大での栄養價保證すみのもので、しかも安價で(一食五錢)大勢の幼児がほんご残さず頂戴してゐる光景はうれしく拜見した。この大きな御努力

による給食によつて、幼児の偏食のへきを次第になほすことも出來て誠に結構な御企てを感じたが、園長はじめ保母諸姉の御骨折がどんなにか大變であるかも察せられた。

第二幼稚園に參上した時には幼稚園のお子さん達がお歸り近い時間であつた。雨の中を小さい蛇の日傘をさして歸つてゆく様子は東京では見られない珍しい眺めであつた。

園長加藤しやう先生の御案内で園内を拜見させていたゞいた。お二階の靜かなお部屋は誠に奇麗に整頓された美しいお部屋であつた。人形芝居の舞臺、蓄音機、おまゝごこのセットなごそなへつけられてあつて、時々靜かな保育がこのお部屋ではじめられる事を想像した。大きな積木専用のお部屋もあつて保育室の豊かなこの幼稚園に遊ぶ幼児は幸なこゝである。

女子師範學校の附屬幼稚園や、松若幼稚園、第一幼稚園
なども何ふには伺つたのであつたが外の用件をかねたり、
時間の都合がわるかつたりして、親しく幼児の遊ぶところ
は拜見出来ずに残念であつた。

二十二日

大阪の堂島小學校の附屬幼稚園をお訪ねした。こゝは自
分が二昔も前にしばらく奉職してゐた昔なじみのところであ
る（もつこも場所も變り建物もごりかはつてはゐるので
はあるが）こゝにおられる中森主任も大阪師範學校時代の
舊知の友人で、幼稚園を拜見するよりもいろ／＼昔の御話
がはづんだ。御心づくしの御款待をうけた。大阪としては
めづらしく自然土の庭や、砂場で心ゆくばかり幼児は遊ん
でゐた。

久寶幼稚園でも午後伺つたので自由遊びのまゝころであつ
た。こゝでは幼児がお歸りの前に一日の汗や、ほこりを洗
ひおますのに、一人一人に洗面器が用意されてゐた。あち
こちの木蔭に一組づゝ一團ミなつて、お手やお顔を洗つて
ゐる。エプロンや、お洋服なご大して濡さずに手ぎわよく

奇麗なお顔でお部屋へはいつてくるのを見るに、これまで
におしつけのよくミゞいてゐるのに感心させられた。

この日の朝、新聞で「芦池幼稚園に幼児に晝寢の企云々」
の記事を讀んだので、久寶幼稚園の藤本主任にわざ／＼御
多忙中を芦池まで御案内を願つた。生憎ミ毛布、まくらな
ご種々御準備中ミて御實施の様子は残念ながら拜見出来ず
に晝寢の大きな疊敷のお部屋だけを見せていたゞいた。

二十三日

天氣快晴のうちにミ京都へ出かけた。京阪電車の急行に
のつて四十分で京都に着いた。

老母の云ひつけで先づ東山の東大谷へ參詣した。圓山公
園へ入つて夜櫻ならぬ、葉櫻を見て智恵院山門前から車を
駈つて永觀堂へ急いだ。

學生時代に見た秋の紅葉の美しかつた永觀堂の記憶をよ
びおこしながら山門をくゞる。この境内に幼稚園ありまき
くに幼児の聲はさらになくて、初蟬の聲ばかりが聞えて來
るのであつた。廣くミもこの山内をあるけばミ一人ぎめし
て木立の中に入る。やゝしばらくして木の間より高濱主任

の數人の幼兒ミ話されながら散歩せられるお姿をお見うけした。突然の來訪にさぞお驚き下さつた事であらう。

この園のこゝみにつきては牛島園長よりかねていろ／＼お話は伺つてゐたのではあるがさすが御自慢になるだけミ、うなづかれた。

櫻、紅葉の老木數しれずその下に疏水の水はあちこちに流れてゐる。大きな自動車が幼稚園前にミまつた。中から三十人ばかりの幼兒が嬉々ミして飛び出した。これは朝の迎への最後の自動車であつた。

大きなお部屋にお集りがあつた。兩陛下の御眞影の前に最敬禮のゝち幼兒一同は君が代を合唱した。

後は各のお部屋やお庭に分れ分れになつた。高濱女史の園内の觀察誘導に幼兒並みについて歩いた。大きな池の眞中の石の上に澤山の龜が甲良をほしてゐる。大きな鯉もあちこちに泳いでゐるのが見える、小さいおさかなは數しれず遊泳してゐる。少しさがつた泥池にはコウボ子や澤山はへてゐる。泥の水たまりには眞黒いお玉じゃくしが、うじょうじよこゝる。幼兒たちは早速ミおたまじゃくしをこり出

した。おたまじゃくしがにげ場がないほごゐるのでこの子も澤山に手つかみにしてもつてゐる。兩手に一杯にぎりしめてゐるので可愛そうに、そんなにしてゐるミ死ぬでせう。こいふこゝにがしてやるえミ泥池の方へかけ出したこの子の言葉も亦その心持ミ共にうれしかつた。永觀堂本堂前には澤山の櫻ぼうがおちてゐる。小さいあかい可愛らしい實である。お人形の頭に丁度よい、膳先生ならさんなにか御工夫遊ばすこゝであらうミ思はれた。さくらんぼ拾ひを一段うちきつて、後山の塔へのぼつた。幼兒は皆なか／＼の健脚家で驚いた。自分はびりからやうやくこの行につゞいた。こゝからの眺めは又一段である。濃きうすきこりませた緑の色は又格別ミすが／＼しい。黒谷の塔、平安神宮、美術館、都ホテル、なき折から、町々にたてられた五月幟のふき流しや鯉の間から、よく見えて幼兒にあちこちおしへられた。正午近く山を下りた。この道すがら大きな山椿が數本あつてまだのこりの花をいくつつかつけてゐる。高濱女史は「椿や椿」の歌を口づさまれながらあの歌はこゝでこそほんこゝに歌へる歌だミ話された。花のおちる頃は拾つても／＼

つきないそうであらやましいかぎりである。

幼児の晝食のお辨當はそんなに美味であつたであらう。

こんな食事こそ、ほんまに身につく云ひたいと思つた。

一時半すぎにはお歸りの支度で、お送りの始發の自動車
がまつてゐた。

當山の管長ならびに園長の御熱心なる御經營に加へて斯
道に多年の御經驗を御識見の豊かな高濱女史を主任として
むかへられて、いよくもつて天下の名幼稚園なる事

あらう。

この後に大阪の愛珠幼稚園、奈良の女高師附屬幼稚園、
奈良市の托兒所なご諸所拜見させていたゞき、久しぶりに
いろくゞ心のかてを頂戴した事は誠にうれしかつた。そ
の様子なきことにつゞけるつもりであつたが、誌面の都合
上又いつかの機會にゆづる事とした。今度の自分の旅行中
いろくゞ御世話下さつた京阪ならびに名古屋、奈良の諸
園の先生方に深く感謝いたして筆をこぎめたい。

菊地フジノ様のスキートピーさん、私はあなたの御身の上話を聞いていたく同情いたしました、名醫の大岩博士の注
射もお受けになつた事でせうから、私のやうな篤醫の診察しましたからとて名案の浮ぶ筈のないと存じますがだんだ
ん考へて見ましたに御氣の毒様ながらあなたの素質がお悪かつた爲めではないでせうか。育ての親フジノ様はそれに
は御氣づきなく立派な素質のスキートピーさんと思込まれて理想的な教育法をなさいましたのとか存じます、心のこ
もつた高價な滋養品も體質に合はれば却て榮養不良になる事があります、あれもこれもと注意し過ぎた大人の躰が却
て子供らしさを削いだり理窟ばつたりして私共から見て好ましくない性質の子供にしてしまふ例はずい分ございます。
老練家のフジノ様も時には弘法も筆のあやまりに洩れず素質の鑑定が充分でなかつたのではないかと思ひます。
けれども又一方から考へるとあなたは發育のおそい方、所謂奥でいらしやるのです、お隣の豌豆さんや外の島の早生
の方と比較してお急ぎになるのはちとせつちか過ぎるかと思ひます。

今に皆さんが忘れられた頃見事に葉が繁り蔓が延び立派な花が一時に咲いて悪口をいはれた誰れ彼れをアツといは
せる時代がきつとあると存じます、決してあせらず悠々時の至るのとお待ちになるやうフジノ様にも申上げて下さい
ませ、其時には私共も喜んでお祝に伺ひます。(坂内ミツ)